

瀬戸屋敷の正月準備  
**しめ飾り・ミニ門松作り教室**

- ①ミニ門松作り  
12月15日(日) 10時~12時 (定員30人)
  - ②しめ飾り作り  
12月15日(日) 13時~16時 (定員30人)
- 費用/各800円  
 持ち物/①のみ、わらを切るはさみ  
 ④・⑤ あしがり郷瀬戸屋敷  
 ☎84-0050 (月曜日は休園)



瀬戸屋敷倶楽部会長 遠藤徳造さん (金井島)



**飾り付けには意味がある**  
 しめ飾りには、橙、ウラジロ、ユズリハが飾りつけられています。それは、「代々(橙)、共に白髪になるまで(ウラジロは葉の裏側が白くなるまで)の植物です。その葉が表面も白くなるほど長い間、譲り合い(ユズリハ)の気持ちをもちましょう」ということを意味しています。



**昔のしめ飾り**  
 昔は、三つ編みにした藁に、橙、ウラジロ、ユズリハをつけただけの簡素なものでした。

# 正月飾りを作ろう 新年を迎える準備



12月に入ると、瀬戸屋敷では正月飾りをつくったり、すず払いをしたりして、新年を迎える準備が始まります。  
 瀬戸屋敷で、しめ飾りの作り方を指導されている白井則さんにお話を聞きました。

## 「自分で作って自分で飾る」それがたいせつ

「しめ飾りは、周りの人が作っているのを見て作り始めました。私が幼いとき、父親が戦死したので、親から教えてもらうことはありませんでした。もう50年近く、毎年しめ飾りを作っているのですが、30分もあればできあがります」と慣れた手さばきで藁を編んでいました。



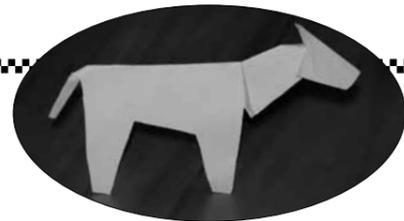
**福が「入り」ますように**  
 三つ編みにした藁を漢字の「入」となるようにします。



**願いを書いた飾りをつける**  
 商売をしている人は「商売繁盛」、家族の健康を願う人は「家内安全」などの願いを書いた飾りをつけます。

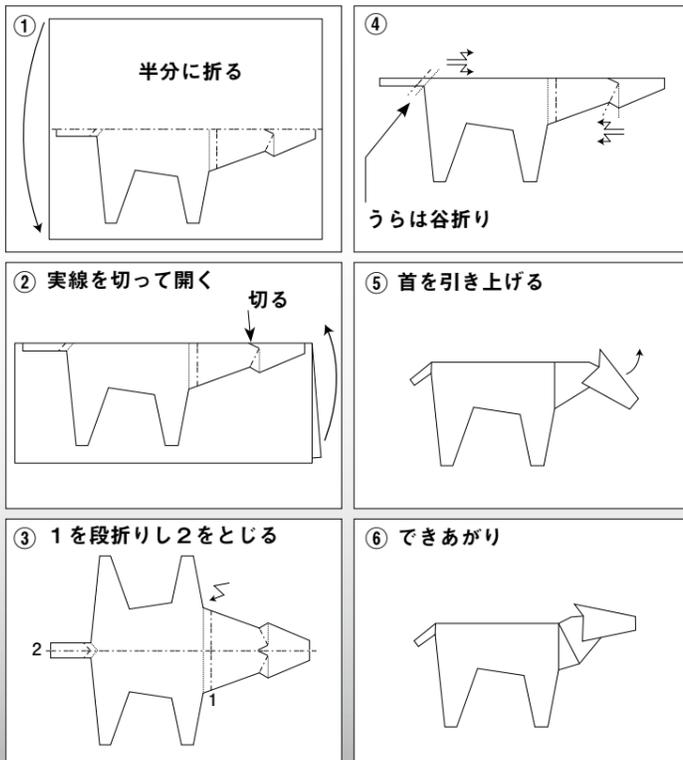


**藁を編む**  
 しめ飾りを初めて作る方は、藁を編むだけで、約2時間かかることもあります。藁を編むのは、簡単なように見えて難しいものです。



## 親子で作ろう 来年の干支「午」のお飾り

小澤進さん(上島)が考案された午の切り絵を紹介します。  
 ※型紙は13ページにあります。



午の切り絵は5分でできる簡単なものです。ぜひ作ってみてください。  
 正月飾りは、切り絵のほかに、折り紙で作れるものもありますよ。



小澤進さん (上島)